

科目名	電波伝送学			担当教員	真鍋克也		
学年	電子工学科5年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	08E05_30730	単位区別	履修単位
学習目標	電磁波はアンテナからどのように送受信されるか理解し、それに関連する電磁界計算法を学び、簡単なアンテナ特性が計算できるようにする。また、電磁波の大気、電離層、宇宙空間伝搬特性を理解すると共にその利用法を学ぶ。						
進め方	本科目は4年の電波伝送学に続くもので、各種アンテナの原理と電波の伝わり方をテキストの内容にほぼ沿って講義する。各章末の演習問題をレポートして課す。各自が行った解答を指名された者が黒板に示し、添削を行った後、提出する。						
履修要件	4年次の電波伝送学を履修していること						
	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 進行波アンテナ(2) 2. 八木アンテナの構造、原理、設計(2) 3. コーナレフレクタアンテナ、演習問題(3) ----- 4. 前期中間試験(1) ----- 5. 折り返しアンテナ(2) 6. 垂直偏波全方向性アンテナ(2) 7. 水平偏波全方向性アンテナ(3) ----- 8. 前期期末試験(1) ----- 9. ヘリカルアンテナ、対数周期アンテナ(2) 10. コーナレフレクタアンテナ、演習問題(3) ----- 11. 後期中間試験(1) ----- 12. パラボラアンテナ(2) 13. カセグレン、グレゴリアンアンテナ(2) 14. オフセットパラボラアンテナ(2) 15. ホーンレフレクタアンテナ、電波レンズ(3) ----- 16. 学年末試験(1) 17. 答案返却・解答(1)			定在波アンテナ、進行波アンテナの違いを理解する D2:1-3 八木アンテナの原理を理解する D2:1 実用されているアンテナを知る D2:1 折り返しアンテナ、八木・宇田アンテナ、ヘリカルアンテナ、進行波アンテナ、その他 VHF や UHF アンテナの知識を得る D2:1-2,D3:1-2 ホーンアンテナ、パラボラアンテナ、カセグレンアンテナ、スロットアレイアンテナ、レンズアンテナ、誘電体アンテナなどのアンテナの知識を得る D2:1-2,D3:1-2			
評価方法	中間試験・期末試験を約 75 %，レポートを約 25 %の比率で総合評価する。						
関連科目	電気磁気学						
教材	教科書：教員作成プリント						
備考	本科目は、第1級陸上特殊無線技士の学校認定に必要な科目である。						